

復興後の町並みは

説明は尽くしてきたと 認識している



議員 関 清貴
(政和会)

問 山田地区の国道周辺は町有地と民地が決まったと思う。町民は計画を期待している。住民説明は。

佐藤町長 町有地を集約化し商業および産業系の施設立地の誘導を考えている。説明は尽くしてきたと認識している。

問 中、高校生の意見を聞かずにこれからの町づくりを進めて後悔することはないか。

沼崎復興推進課長 町民の声を聞いて決めている。

問 八幡町の旧山田病院から長崎地区に通ずる仮設道路が通行できず、不満の声が聞かれる。道路新設で住民の利便性を向上する考えは。

町長 当初は新設道路で



整備が進む国道45号

計画したが、区画整理事業の地区内外の宅地に大きな高低差が生じることから、廃止することで事業計画を変更した。再度見直しの考えはない。

問 長崎地区は以前は水田で、旧山田病院前を通ずる道路は考えられないか。

かっただと思う。今は区画整理を行い道路がある。役場に通ずる道路をつくるため、再度見直しできないか。

川守田建設課長 八幡町の盛土の高さに合わせて商工会側までかさ上げの必要があり難しい。

復興工事の完遂は

山田地区は30年度の見込み

問 山田地区の完成時期は。

町長 住宅再建場所の工事は29年度、道路事業など山田地区の全ての工事は30年度の完成見込み。

問 台風10号で長崎地区の7分団屯所周辺が冠水した。居住区域の引き渡しが続くのか。引き渡しを受けた後の心配はないか。住民説明は。

町長 排水を仮設排水路で処理している。今後、仮設排水路の改善を行う予定。基盤整備完了後は排水を処理できるものと考えている。地域住民へ

は個々に伝える。

問 西川に流れない原因は。

建設課長 道路が完成していないためJR側の仮設水路で処理していた。現在は仮設排水路を増やすことで進めている。

問 完成は。

建設課長 30年度。仮設排水路は10月にはできる。

問 不都合があるために説明は個々に行くということか。

建設課長 丁寧に説明するためである。

- ◆ 保育サービスの充実
- ◆ 学校給食センターの建設は

その他の質問